

THE ANVIL!

インテリジェント・アベイラビリティ・プラットフォーム

Alteeveについて

Alteeveは、コンピュータシステム運用の継続性に特化したソフトウェア&システム設計会社です。当社のトータルなソフトウェア&アーキテクチャ・ソリューションAnvilは、サーバーのアップタイムを確保しながら、サーバープラットフォーム全体の高度な管理を実現するように設計されています。このソリューションを導入すれば自律性、冗長性、耐障害性、可用性に優れた仮想サーバープラットフォームを簡単に構築できます。どんなハードウェア障害が発生しても、運用が中断されることはありません。

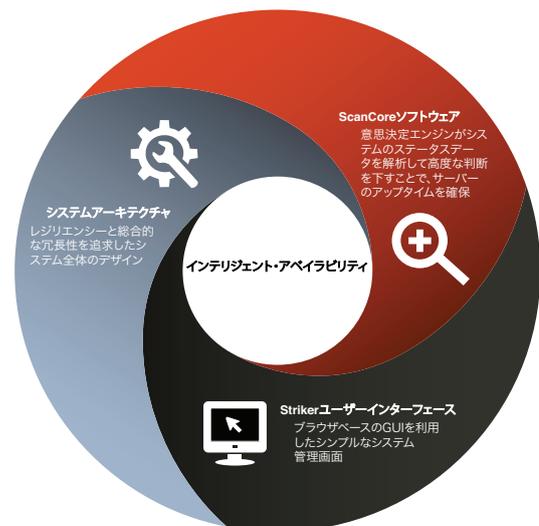
高度な専門知識を備え、何事にも「全力を尽くす」Alteeveは、スケジュールとご予算に応じて、常にお客様の期待を上回るソリューションを提供します。

インテリジェント・アベイラビリティ

私たちは信頼性の新たな基準、インテリジェント・アベイラビリティを考案しました。問題が起きてから対応する従来の高可用性システムは人手に頼る場合が多く、完全に冗長化されていないため、大部分の企業は守備体制が万全ではありません。インテリジェント・アベイラビリティはこうした問題点を改善して守りを固め、ハードウェアの信頼性を高め、サーバーのアップタイムを確保します。

Anvilはレジリエントなアーキテクチャデザインとインテリジェントな意思決定ソフトウェアを組み合わせながら、最小限の人手でオペレーションの自律化とサーバーの保護を実現。プラットフォームの健全性や環境について高度な意思決定を行うことで、ホストしたサーバーを変化する脅威から未然に保護します。

Anvilを導入すれば、ネットワークや本番環境の各種機器や装置もモニタリング・管理・保護することができます。これによって、サーバーをはじめとする重要な機器の信頼性やアップタイムを大幅に改善しながら、IT関連の諸経費を削減します。



THE ANVIL!

ScanCore

Anvilの頭脳であるScanCoreは、オペレーションを自律化するように設計されています。プラットフォーム全体で数百カ所に及ぶデータポイントを高精度な監視機能でチェックし、そのデータを解析してプラットフォームや周辺環境の健全性を判定。ハードウェアや環境の脅威が変化する状況でもサーバーの停止やデータ損失を防止するため、たえず調整を行っています。

ScanCoreは各ノードの健全性を絶え間なく監視・比較することで、サーバーが常に最も健全なノード上で稼働するようサポートします。サーバーが稼働しているノードで健全性が低下した場合や何らかの脅威が生じた場合は、より健全なノードへ自動的に切り替えます。

このソフトウェアは環境面の脅威にも先を見越して対応します。停電時に熱関連のイベントなどの脅威を検出すれば、ScanCoreが電力負荷を抑えてサーバーのアップタイムを延長。脅威が解消されれば、ScanCoreの自己回復機能によって自動的に平常運用へ戻ります。

クリティカルなイベントが発生すれば、すみやかに調査・対応できるよう、Alteeveとクライアントにアラート通知が届きます。今後のためにイベントログも保存します。

他のサードパーティ機器にポーリングし、そのデータをもとに当該機器を変化する脅威から保護できるという機能もScanCoreの重要な利点です。

Striker

Strikerダッシュボードとブラウザベースのユーザーインターフェースを利用したシンプルな管理画面から、簡単にノードを監視・管理し、各種リソースや仮想マシンをクラスタリングできます。最低限のIT知識があれば管理できるため、ITスタッフの負担も軽くなります。

システムアーキテクチャ

システム全体の設計を通じて、あらゆるハードウェアプラットフォームのトータルな冗長性とレジリエンシーを追求。電力・ネットワーク・管理レイヤーなど、他のシステムでは見過ごされやすい重要な要素にも配慮しています。ノードを二重化し、ソフトウェア定義によって複製した内部ストレージを活用するため、深刻なノード障害が発生してもサーバーやデータには影響が及びません。用途ごとに冗長化したネットワークを分離することで、持続的な通信とリアルタイムのデータレプリケーションも実現。冗長化したUPS（無停電電源装置）とPSU（電源ユニット）で電源も確保します。

Anvilのインテリジェント・アベイラビリティプラットフォーム

インテリジェント・アベイラビリティによって信頼性や安定性を高めたAnvilのプラットフォームは展開しやすく、監視が楽で、使い勝手も抜群。業務サーバーやミッションクリティカルなサーバーをはじめとする重要な機器のオペレーションを自律化し、継続運用を可能にします。Anvilなら、昨今の企業が求めている大企業のニーズにも対応できるパフォーマンス、保護、レジリエンシーが実現できます。